

議 題 (2)

第4次大阪市食育推進計画の取組状況について

③令和7年度各団体における食育の取組

令和7年度食育の取組内容等

団体名	大阪市食生活改善推進員協議会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>大阪市が食育推進や健康づくりのリーダーを養成するために開催している「健康講座保健栄養コース」の修了者が、栄養及び食生活改善の実践活動をすすめ、広く地域の健康づくり、食育の推進に寄与することを目的に、昭和52年5月に設立し、令和4年度に45周年を迎えました。</p> <p>会員数 2,452名(令和7年度)</p>
取組内容	<p>1. ライフステージに応じた食育活動の実施</p> <p>(1) プレママクッキング、キッズクッキング、おやこの食育教室</p> <p>子どもの頃から望ましい食習慣を身につけ、食の大切さや楽しく食事をする事、共食の重要性を知ってもらうことを目的に、子どもや保護者、若い女性、妊婦の方を対象に実施。</p> <p>(2) 生活習慣病予防教室</p> <p>健康寿命の延伸と生活習慣病予防を目的に、「減塩しよう」や、「野菜を食べよう」、「一緒に食べよう」、「フレイル予防」等をテーマに、講話や調理実習等の普及啓発活動を実施。みそ汁の塩分濃度測定も行い減塩の啓発をした。</p> <p>対象者を若者(中学～大学生等)・働き・高齢世代に分け、学校や他団体と協働で講習会等を行った。</p> <p>(3) 男性のための料理教室</p> <p>高齢者の単身世帯が増加する中、男性を対象に「食生活に関する自立への支援、地域とのつながりづくり」を目的に、調理実習を中心とした講習会を実施。</p> <p>2. 環境に配慮した「エコクッキング」の開催</p> <p>家庭での食品ロス削減に向けて、持続可能な環境に配慮した食生活を推進することを目的に、大阪市環境局と協働で「エコクッキング」を実施。会オリジナルの「えこレシピ集」を大阪市保健所と協働で作成し、普及啓発を行った。</p> <p>3. 災害時の備え「パックスクッキング」</p> <p>災害時や日常においても活用できるポリ袋を使った「パックスクッキングレシピ」を大阪市保健所と協働で作成し、調理実習を中心とした講習会等を含め、普及啓発を行った。</p> <p>4. 「食育の日」の取組や食育イベント等</p> <p>「食育月間」や「食育の日」に、食育キャンペーン等を実施。「野菜を食べよう」「減塩しよう」を主テーマに会場で献立等の展示、リーフレット配布、食品釣り等のゲームで普及啓発を行った。大阪市たべやんレシピ「クックパッド公式キッチン」にメニューを掲載し、情報発信を行った。大阪市朝食月間の9月には、「朝ごはんを食べよう」をテーマに、各講習会等において普及啓発を行った。</p> <p>上記1.～4. について、年間を通じて、状況に応じて各区で実施</p> <p>※参考:令和6年度活動実績</p> <p>活動回数 30,021回 人数 178,519人 (集会:9,724回 130,927人、対話・訪問:20,297回 47,592人)</p>  

令和7年度食育の取組内容等

<p>団体名</p>	<p>一般社団法人 大阪府医師会</p>
<p>団体等の概要 (設立・会員数・目的等)</p>	<p>日本医師会ならびに大阪府内の郡市区等医師会との連携のもと、医道の高揚、医学および医術の発達ならびに公衆衛生の向上を図り、もって社会福祉を増進することを目的として、昭和22年に設立。府医イメージキャラクター「らっふい〜」 会員数は医師17,115名です。(令和7年12月31日現在)</p>
<p>取組内容</p>	<p>■ 提供・協力している広報媒体を通じて、医療・健康に関する情報を発信しています。 (NHK ラジオ「季節の健康」、毎日新聞「ご近所のお医者さん」など)</p>  <p>■ 府民の健康向上を目指して、府民向けの健康イベントを開催しています。 (健康問題相談、大阪の医療と福祉を考える公開討論会、シルバー健康大学、エイジレス健康講座など)</p>  <p>大阪糖尿病対策推進会議の構成団体として、11月14日の世界糖尿病デー前後に、World Diabetes Day 2025 おおさかのイベントを開催。血糖値、HbA1c 測定、啓発ポケットティッシュ配布、栄養相談、医療相談、セレモニーを行っています。</p> <p>■ 地域住民に適切な医療を提供できるよう、会員医師や医療関係者を対象に研修会・講習会を開催しています。</p> <p>■ 郡市区等医師会では、地域における健康イベントを開催し、パネル展示などによる疾病予防や健康づくりの普及啓発に努めています。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>

令和7年度食育の取組内容等

団体名	一般社団法人 大阪府歯科医師会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>大正15年設立。 会員数5,294名(令和7年3月末現在)。 医道の高揚及び学術研鑽を通じて、地域社会における歯科医療の促進と公衆衛生の普及啓発を図り、府民の健康向上に努めることを目的とする。</p>
取組内容	<p> ■ライフステージごとの「噛むこと」「味わうこと」の大切さを考えた場合に、高齢者の口腔機能保持も大きな要素となることから、8020達成者の表彰式を開催し、生涯を通じた歯の健康づくりの大切さを啓発した。 開催日：令和7年10月25日(土) 場 所：大阪府歯科医師会 被表彰者数：113名 </p>  <p> ■在宅歯科医療連携室相談窓口を設置し、居宅療養でお困りの方々に対応している。 </p> <p> ■大阪市生涯歯科保健推進事業の中で、小児に対する「食べ方」の機能発達を促す取組みを実施している。 </p> <p> ■大阪市オーラルフレイルの普及啓発事業の中で、高齢者に対する誤嚥防止等に関する取組みを実施している。 </p> <p> ■大阪市健康イベントや明治安田生命との協働事業にて各種イベントにブース出展し、8020財団提供の噛むカムチェックガムを使用して「かむことの大切さ」について普及啓発を行った。 </p> <p> <大阪市健康イベント> 日 時：令和7年9月21日(日) 11時～15時 場 所：グラングリーン大阪 参加者数：101名 </p>  <p> <明治安田生命との協働事業①> 日 時：令和7年4月29日(火・祝) 12時～15時 場 所：パナソニックスタジアム吹田 参加者数：198名 </p>  <p> <明治安田生命との協働事業②> 日 時：令和7年11月8日(土) 8時～13時30分 場 所：茨木国際ゴルフ倶楽部 参加者数：204名 </p> 

令和7年度食育の取組内容等

団体名	社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	「大阪市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ること」を目的として、昭和26年5月に設立。
取組内容	<p>1 地域子ども支援ネットワーク事業（市社協）</p> <p>本会では、子ども食堂など、地域で子どもの居場所活動を行っている団体をネットワーク化し、企業、団体等の支援者からの物資提供の受入れ及び需給調整や、連絡会・講習会等の開催、情報発信など、子どもの居場所活動の運営を支援する「地域子ども支援ネットワーク事業」を実施している。</p> <p>子どもの居場所活動は、子どもたちに第三の居場所を提供するだけでなく、家庭の事情で孤食、欠食となりがちな子どもたちの食育（共食）へも焦点を当てた活動となっている。</p> <p>◇令和7年12月末時点の登録団体数：433団体、545箇所</p> <p>◇本事業の主な取組み</p> <p>＜地域子ども支援団体連絡会の開催＞ 活動団体や応援企業、社会福祉施設、中間支援組織、行政など、子ども支援に関わる団体の協働・連携を図ること及び知見を広げるため、2ヶ月に1回開催。</p> <p>＜企業・団体等の支援者からの物資提供の受入れ及び需給調整＞ のべ106件の企業や団体、個人等から申し出があり、延べ1,265団体に提供（令和7年12月末時点）</p> <p>＜子どもの居場所活動の推進に向けた広報・啓発＞ 年間6回発行するボランティア・市民活動情報誌「COMVO」や地域子ども支援ネットワーク事業独自のHPでは、大阪市内の子どもの居場所活動MAPや、各活動団体について紹介し、より広く子どもの居場所活動について関心を持ってもらう機会を構築。</p> <p>◆食育に関連した取組み</p> <p>＜衛生講習会の開催＞ 子どもの居場所活動団体や活動の立ち上げを考えている人を対象に、食中毒予防等の衛生管理について学ぶ機会を設けることで、継続的な運営をサポートするとともに、子どもへ安心安全な食事を提供できるよう、令和7年度は7月に2回、11月に2回開催。講師は健康局 生活衛生部 生活衛生課に依頼。</p> <p>＜企業による食育イベント＞ 「マナー&食育セミナー」 実施企業：三井住友銀行 梅田法人営業部／くら寿司 実施先：特定非営利活動法人ここから100 実施日：令和7年12月17日（水） 実施内容：食育セミナーとして、くら寿司から、映像や寿司・魚のサンプルを用いて、SDGsに関する取組みや、現在の漁業の状況や今後の課題について講義。</p> <p>2 高齢者食事サービスの支援（区社協）</p> <p>地域福祉活動の一環として高齢者食事サービスを多くの地域(令和7年3月時点、大阪市内317か所)で実施しており、区社協では、活動継続等について支援し、大阪市社協では活動の広報啓発等の後方支援を行っている。</p> <p>高齢者食事サービスの活動は、高齢者の交流機会の提供や見守りにとどまらず、孤食・偏食になりがちな高齢者の食育にも役立っている。また、区役所や地域包括支援センター等と</p>

連携し、参加した高齢者に対し食生活を含め健康講座や健康チェック等を行い、食育とあわせて健康づくりの場にもなっている。

3 生活困窮者等に対する食料支援の取組み（区社協）

多くの区社協において、各家庭であまった食料品などの寄付を呼びかけ、集まった食料品を、食に困っている生活困窮者や子ども食堂などの活動団体に提供し支援するフードドライブや、企業や個人から寄付を受けた食料品などを必要とする個人や団体に直接配布するフードパントリーを実施している。

活動形態は各区さまさまで、フードドライブの食料品寄付の受付を常時行っている区や、イベントにあわせてフードドライブやフードパントリーのブースを設置し実施している区などもある。また、食料品寄付の受付場所として、区社協だけでなく、企業の店舗に協力をいただいている区もある。

これらの活動は、食生活の維持や食品ロス削減など食育につながる取組みともなっている。

令和7年度食育の取組内容等

団体名	大阪市PTA協議会
団体等の概要 ・（設立・会員数・目的など）	<p>昭和25年11月24日 設立</p> <p>会員数 131,137人</p> <p>各区PTA協議会並びに関係諸機関・団体との調整、協調をとおして、単位PTA健全な発展と児童生徒の健全育成を図るための組織。</p>
取組内容	<p>大阪市PTA協議会 PTA会員の集い</p> <p>令和7年3月30日(日)午前10時～</p> <p><場所></p> <p>大阪市立東中学校 2階家庭科室</p> <p><目的></p> <p>単Pや区Pの活動を通じて経験したことや感じたこと、子育てに関する悩みや楽しみ方などを話し合い、情報交換と親睦を深める機会として年2回実施。</p> <p><参加者></p> <p>PTA会員とその子ども(小学校1年生から中学校3年生まで)定員親子20組40名程度</p> <p><内容></p> <p>老舗の銘品を親子で調理体験&炊き立てご飯で「ちりめん山椒」試食会」</p> <p>今回の講師は明治4年創業の老舗「江戸三・大和屋」の第4代店主で会長の大和孝資様で、厚生労働大臣から卓越した機能者として「現代の名工」の表彰を受けておられます。</p> <p>(1) 大和煮についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和煮は佃煮の別称であるが違いがある。 佃煮 → 煮詰めて出汁がなくなるまで煮詰める。 半年でも保存できるが、さまざまなものが添加されている、 大和煮 → 出汁がある間に火を止め、ソフトな仕上がりにする。 <p>問題点は、水分が多いほど傷みややすく、普通は傷みを抑えるために保存料を入れるが、大和煮は、冷蔵することで保存料を入れない製法を取っている。ガスで煮ている間は傷むことはなく、火からおろしたら、「生きている」ので傷みが始まる。</p> <p>直接添加していなくても使用する醤油に含まれている場合がほとんどだが、大和屋は、無添加の醤油使用している。(醤油の冷蔵後で保管している。)</p> <p>砂糖はキビ糖を使用し、コクを出している。</p>
	 

(2) 五味五感

五味→ 甘い 辛い(塩辛いと山椒などの辛さの二種類) 酸味 苦味

五感→ 目で見ると鼻で匂いを感じる 鍋の音を聞く 触れる 味わう

できあがるまでに「五感」を意識しながら作る。



(3) 作り方

- ① 山椒を袋の上から手でもむ。
- ② 器に山椒を出して軸を取り除く。
- ③ 鍋にたれ(大和屋秘伝のたれ)を入れて強火で温める。
- ④ 沸騰したら火を弱め、ちりめん、山椒の順に入れお玉で混ぜる。
- ⑤ 火を強め少しの間煮て火を止める。たも網で汁気をとってザルに取りあげる。

参加者たちは、親子で協力して作業を進めた。特に山椒は小さく、軸をとるのは根気のいる作業になった。

(4) 試食

できあがった「ちりめん山椒」を炊き立てのご飯にかけて試食が始まった。

参加者のみなさんが味の良さを感心し、「手づくりの良さ」や「添加物のない味が素晴らしい」などの声が聞かれた。

(5) 感想

普段の生活環境において、親子で調理をするなどあまりなかったかもしれません。

親子で調理することによって、親子のふれあいができるだけでなく、一緒に食事をとることの大切さをわかりあえたと思います。

子どもたちも自分で作ることを楽しさを体験し、食品の栄養価を学び、食物の大切さを知る、自分で作ると残さなくなるなど、とても勉強になったと思います。

今後も、食に関する知識を身につけ、健康的な食生活を実践することにより、心と身体の健康を維持し、生き生きと暮らすために、「食育」ということの大切さを理解したいと思います。



令和7年度食育の取組内容等

団体名	一般社団法人 大阪府薬剤師会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>本会は、日本薬剤師会・都道府県薬剤師会並びに大阪府内に所在する地域及び職域の薬剤師会との連携のもと、薬剤師の倫理の高揚及び学術の振興を図り、薬学及び薬業の進歩発展を図ることにより、大阪府民の健康な生活の確保・向上に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立】 明治23年1月11日</p> <p>【会員数】 7482名(2025年12月末現在)</p>
取組内容	<p>① エイジレス健康講座 ATCにて大阪府医師会、大阪府歯科医師会との共催で「健康講座」を開催</p> <p>② 薬と健康の週間「府民のつどい」 医薬品や薬剤師等の専門家の役割に関する正しい知識を広く国民に浸透させることにより、国民の保健衛生の維持向上に寄与することを目的とする クリスタ長堀滝の広場にて薬事衛生等をクイズ形式で府民の皆様に参加して頂き、情報提供を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>③ 府民健康フォーラム 主催:大阪府薬剤師会・大阪府臨床検査技師会・大阪府栄養士会 後援:大阪府、大阪市 「心不全」をテーマに、心臓を守るための食生活について府民の皆様にご講演。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>④ 健康サポート薬局の研修(新規・継続) 健康食品や食品について学び、症例ごとのグループディスカッションにて知識の確認を行う</p> <p>⑤ 地域薬剤師ごとに健康展・健康まつりを開催し、薬の適正使用とともに食生活の改善についてのセミナー開催</p> <div style="text-align: center;">  </div>

令和7年度食育の取組内容等

団体名	大阪市学校保健会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>本市の学校保健の振興を図るとともに、その推進運営に寄与することを目的として、昭和26年7月に設立。</p> <p>構成員等は大阪市立小、中学校及び幼稚園の学校医、学校歯科医、学校薬剤師、校園長、保健主事、養護教諭、PTA、その他学校保健関係者となっている。</p>
取組内容	<p>1 区内の学校医等をはじめとする学校保健関係者、保護者を対象に、保健大会において講演会等を実施しており、今後も同大会において、各区の健康課題に応じた講演会等を実施する。</p> <p>2 学校保健タイムス発行(年2回) 学校保健の振興を図るとともにその維持運営に寄与することを目的とし、学校保健に関する現状や課題、調査研究など様々な情報を提供している。</p> <p>3 健康づくり推進 【健康づくり推進指定校(小学校)における取組】</p> <p>①主題 歯・口を健康にたもとう～歯みがき・かむことを通して～</p> <p>②主題設定の理由 新型コロナウイルス感染症の流行により、生活様式にも様々な変化がもたらされた。基本的な生活習慣である「手洗い」は、習慣が強化された。半面、マスクをして過ごす生活を余儀なくされていたこともあり、子どもたちの口元は隠れ、「うがい」「歯みがき」の習慣は衰退してしまった。「歯や口の健康」は全身の健康につながると考え、今一度、子どもたちに、「歯や口の健康」についての意識を持ち続けてほしいと願い、主題を設定した。そこで、研究にあたり、児童委員会活動を中心に、子どもたちが歯みがきの重要性やだ液の働き、かむことから歯の大切さなど関心を持って、取り組めるような活動を行う。</p> <p>③実施内容 11月:児童保健委員が3週間にわたって、かみかみセンサーを使用し、パン、ごはんを一口で何回噛んでいるか、給食の献立の中でよく噛んで食べた献立について話し合い順位付けを行った。なお、その結果については、3学期(2月3日)の学校保健委員会で発表する予定である。 12月:第1週を学校で取り組む「かみかみキャンペーン」週間とし、3つの実践(①～③)を推進した。また、実践にあたっては、児童集会において、本キャンペーンの実践内容を盛り込んだ児童保健委員会の劇(事前撮影)を視聴し、関心や意欲を高めた。</p> <p>【3つの実践内容】</p> <p>①朝・昼・夜の歯みがき ②給食の献立の中で一品を30回しっかり噛んで食べる ③あいうべ体操(一日一回、クラスで実施または家庭で実施)</p>

令和7年度食育の取組内容等

団体名	一般社団法人大阪市私立保育連盟
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>当連盟は、1956年(昭和31年)に設立され、現在497ヶ園の認可された保育所(園)・認定こども園・小規模事業が加盟しています。【2025年1月1日現在】加盟園は思想・信条の別なく民間保育園の特性を發揮し、次世代を担う子ども達の保育事業に取り組んでいます。また、地域の皆様の要望に応え、子育て支援事業を行っています。市内民間認可保育所(園)の組織として、相互の連携、協調を図りながら、次の事業計画を行い、民間保育所(園)の運営の推進、保育の質的向上を図っております。</p>
取組内容	<p>第1回食育研修</p> <p>2025年6月20日(金)参加人数128名 場所:たかつガーデン 地下2階 アジサイ 講師:三木 絵梨香氏 (株式会社まんなか 代表取締役)</p> <p>内容:「安心・安全な食事 ～子どもの食べる機能を知り窒息・誤嚥を防ぐ～」</p> <p>* 発達は積み重ねであり、口腔の発達は生後すぐから始まる運動発達に深く影響を受けるので、抱っここの仕方や体全体の運動発達を促すことの重要性についてお話いただきました。口腔機能についてはコップ飲みの実習を交えながら、偏食や噛んで食べるとはどういうことなのかについて実践を通して理解を深めました。</p>  <p>第2回食育研修</p> <p>2025年9月1日(月)参加人数96名 場所:エル・おおさか 6階 大会議室 講師:重川 周氏 (吹田徳洲会病院 小児科 医長)</p> <p>内容:「食物アレルギーの理解と対応(エピペン実践)」</p> <p>* アレルギーとは何かという基礎知識からはじまり、アレルギーの症状や出現時の対応等をわかりやすくお話いただきました。アナフィラキシーショック時の対応として、エピペンの使用方法や実習も行いました。食物アレルギーの診断手順や、食物アレルギーの発症予防についても学び、今後活かせる研修となりました。</p>  <p>第3回食育研修(予定)</p> <p>2025年1月26日(月)参加予定人数100名程度 場所:大阪ガス ハグミュージアム 講師:谷口 信子氏 (大阪成蹊短期大学 栄養学科 教授(栄養学科長) 株式会社ラショナル・ジャパン)</p> <p>内容:「食べる意欲を育てる食育 ～スチコンを利用した食事作りから～」</p> <p>* スチコンを使用した調理実習を行い、食べる意欲を育てるためのご講義をいただく予定です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">食の安心・安全と子どもたちの育ちを守るために、各施設の食育を推進し「楽しく食べよう! ゲンキをつくろう!」のテーマのもと、食べるの大好きな子を各家庭や地域とともに作っていきたいと思います。</p> </div>

令和7年度 食育の取組内容等

団体名	一般社団法人大阪市私立幼稚園・認定こども園連合会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>設立： 1969年(昭和44年)11月22日</p> <p>会員数： 加盟園 135園(令和7年4月1日現在)</p> <p>目的： 幼児教育の振興及び教職員の資質向上を図り、もって私立幼稚園・認定こども園の公共性を高め、市民の幼児教育に寄与すること</p>
取組内容	<p>■大阪市から大阪市幼稚園等教員研修事業の委託を受け、その中で、本年度は2回、食育に関する内容の研修会を実施した。</p> <p>1. [食物アレルギーと緊急時の対応] (*市内の全公・私立幼稚園・認定こども園対象)</p> <p>(1)日時： 令和7年6月5日(木) 15:30~17:00</p> <p>(2)会場： 大阪私学会館 301-303</p> <p>(3)講師： 亀田 誠 先生 (大阪はびきの医療センター小児科主任部長)</p> <p>(4)参加者数： 93名</p> <p>(5)研修内容</p> <p>①アレルギー疾患の傾向と罹患状況 ②食物アレルギーの臨床型の分類</p> <p>③即時型の症状と原因となる食物 ④身体症状の傾向 ⑤食事のガイドラインや基本原則</p> <p>⑥家庭や園における予防策やマニュアル</p> <p>*エピペンの使った緊急時の対応実習</p> <p>*講師は現役の小児科医であり、多くの臨床例をもとに、映像や資料データをもとに、わかりやすく解説いただくとともに、エピペンを使った実習を交えて、現場ですぐに役立つ対応方法について指導いただいた。受講者の貴重な学びの場となった。</p>   <p>令和7年度実績</p> <p>2. [幼児期の食] (*市内の全公・私立幼稚園・認定こども園対象)</p> <p>(1)日時： 令和7年11月12日(水) 15:30~17:00</p> <p>(2)会場： 大阪科学技術センター401</p> <p>(3)講師： 中森 玲子 先生 ((株)イーアドバンス管理栄養士)</p> <p>(4)参加者数： 60名</p> <p>(5)研修内容</p> <p>① ウイルスに負けない体力づくり (免疫力をあげるには)</p> <p>② バランスのよい食事に関して</p> <p>③ 先生方が悩む子どもの「食」事情～幼児食～</p> <p>④ 乳幼児の口腔機能について</p> <p>⑤ 食品添加物・食物アレルギー</p> <p>⑦ 味覚について</p> <p>⑧ 箸の持ち方・姿勢</p>  <p>愛ある食環境が愛ある思考を育むことがよくわかり、保育者としての気づきや必要な知識・技能についても知ることができた。</p>

令和7年度食育の取組内容等

<p>団体名</p>	<p style="text-align: center;">近畿百貨店協会</p>
<p>団体等の概要 (設立・会員数・目的等)</p>	<p>近畿百貨店協会は、(一社)日本百貨店協会の地区組織として、百貨店業の健全な発展を図り、国民生活の向上と経済発展に寄与することを目的に活動しています。 会員店は、大阪市内に5社8店舗がございます。</p>
<p>取組内容</p>	<p>各社の主な取り組み内容は以下のとおりです。</p> <p>【近鉄百貨店】 お箸の使い方を楽しみながら学ぶ豆運びゲームやスタンプラリーなど参加型のイベントを通して、食育への理解を深めるとともに、大阪府栄養士会による栄養相談など健康に配慮した食生活への個別のアドバイスなどを実施。</p> <div data-bbox="483 616 1042 981" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>おおさか食育の縁日 in 近鉄百貨店上本町店</p> <p>📅 令和7年11月22日(土曜日) 10時00分から16時00分</p> <p>📍 近鉄百貨店上本町店 7階</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>👩‍🍳 管理栄養士による 栄養相談</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>📄📦 スタンプラリー</p> </div> </div> <p>も実施!</p>  </div> <p>【京阪百貨店】 開業40周年を記念し、企業・大学・生産者・自治体など27団体が参加する大規模な食育イベント「SDGs 食育フェスタ ～楽しみながら食を育もう!～」を京阪百貨店 守口店で開催。来場者が楽しみながら「食」に関する展示・クイズ・ワークショップに参加したり、大阪産(“もん”)農産物の試食や販売コーナーも好評。</p> <div data-bbox="483 1205 1273 1547" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>こどもからおとなまで楽しみながら、食を育もう!</p> <p>🌻 京阪百貨店</p> <p>SDGs 食育フェスタ</p> <p>📅 2025年5月25日(日) 午前10時30分～午後4時30分</p> <p>KEIHAN BIOSTYLE PROJECT</p>  </div> <p>【大丸松坂屋百貨店】 心斎橋店では「心斎橋の未来をつくろう ～キッズ特別体験プログラム～」と題し、ホテルベーカリー体験(パンのデコレーション)など食に触れる体験コンテンツを提供し、「知る」「つくる」「味わう」をキーワードに、街と“食”の魅力を楽しく学ぶ体験型イベントを開催。</p> <div data-bbox="483 1731 1121 2089" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>大阪の未来をつくろう ～キッズ特別体験プログラム～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>🕒</p> <p>知る</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>🏗️</p> <p>つくる</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>🍴</p> <p>味わう</p> </div> </div> <p>2025/05/24 12:45PM ~ 4:30PM</p> <p>W OSAKA DAIMARU PARCO</p> </div>

【高島屋】

「TSUNAGU ACTION」というサステナブル活動の一環として、食品関連の環境・社会・文化テーマを含めた啓発活動を推進。食の現場では「高島屋ファーム」「味百選」などを通じて、安心・安全で持続可能な食材や食の価値、日本の食文化を伝える取り組みを紹介。



【阪急阪神百貨店】

地域の子どもたちの育成・食育に関わる体験型の教育プログラム「HANKYU HANSHIN こどもカレッジ」を開催。子どもたちが実際に体験や学習を通じて、「食」や「働くこと」「ものづくり」などさまざまなテーマを楽しく学ぶことができる講座で、2025 年も阪急うめだ本店、阪神梅田本店など複数店舗で実施。



その他、フードドライブによる食品のロスの削減、日本百貨店協会監修の「食品安全衛生パスポート」を活用した食品表示に関する知識の周知徹底による食の安心安全の強化、歳時記（正月、節分、ひな祭り、彼岸、端午の節句、七夕、お盆、月見等）に合わせて、料理の謂れやレシピに関する情報を提供をとおした食文化継承に、各社がそれぞれ取り組んでいます。

令和7年度食育の取組内容等

<p>団体名</p>	<p>公益社団法人 大阪食品衛生協会</p>
<p>団体等の概要 (設立・会員数・目的等)</p>	<p>飲食等に起因する中毒、感染症及びその他の危害の発生を防止するため、食品関係事業者に対する食品衛生管理の指導や消費者への食品衛生知識の向上を図るための普及啓発事業等を行っています。</p> <p>昭和 35 年 9 月 設立 昭和 53 年 11 月 社団法人認可 平成 25 年 4 月 公益社団法人認定</p> <p>会員数:正会員 46 業種団体会員 27 特別会員 162 (令和7年 3 月末時点)</p>
<p>取組内容</p>	<p>1 食の安全安心啓発ポスター・標語コンクール(募集期間:7/1~9/5) 応募数:ポスター 41 作品、 標語 495 作品 表彰数:ポスター 6 作品、 標語 4 作品 展 示:令和 7 年 11 月 28 日~12 月 4 日 (阪急電鉄大阪梅田駅構内) 令和 8 年度の協会各種事業開催場所 & 支部事業開催場所</p>   <p>2 食中毒予防啓発活動 府下 46 支部が 7 月から 12 月までの間に、地元の主要駅前や商店街及び量販店等計 16 か所、区民祭、健康祭、商工祭、産業祭及び交流祭等計 7 カ所、計 23 カ所において、通行人、買物客及びイベント参加者に対し食中毒予防啓発グッズやリーフレットを配布するなど普及啓発に努めました。さらに、令和 5 年度から 1 年を通して MBS ラジオにおきまして、当協会オリジナルサウンドロゴ付きの啓発内容を 10 秒間流すことにより、食中毒予防の普及啓発を実施しました。啓発物品 (オリジナルメモ帳等):28600 部</p>     <p>3 食品衛生研修会 令和 7 年 7 月 7 日、ホテル京阪京橋グランデにおいて、第 1 部「弁当及び仕出しによる食中毒事故」について、大阪府食の安全推進課の倉光主査に、第 2 部「食品トレーサビリティ」について、近畿農政局の三谷企画情報係長に、第 3 部「米トレーサビリティ法の概要」について、同局の宮崎主任広域監視官にご講演いただきました。 受講者:108 名 (会員及び府民)</p>  <p>4 ノロウイルス食中毒予防強化事業 (秋季食品衛生研修会) 令和 7 年 11 月 20 日、ホテル京阪京橋グランデにおいて、第 1 部「ノロウイルスの特徴から考える食中毒予防対策」について、(地独)大阪健康安全基盤研究所の白井主任研究員に、第 2 部「カンピロバクターを起因とする食中毒を発生させないために」について、同研究所の梅川主任研究員にご講演をいただきました。 受講者:117 名 (会員及び府民)</p>  <p>5 食品工場見学研修会 令和 7 年 11 月 7 日、会員及び府民 44 名が HACCP に基づく衛生管理を理解し、食品衛生意識や知識の向上を目的として、FSSC 認証取得施設である(株)マルヤナギ小倉屋社工場(兵庫県加東市)と食品の安全と品質を確保するための国際的なマネジメントシステムである SQF (Safe Quality Food) 認証取得施設である(株)共進牧場浄谷工場(兵庫県小野市)の施設見学を実施しました。 定員:45 名 (1 名欠席)</p>  <p>6 食品衛生フォーラム 令和 8 年 2 月 18 日、ホテル京阪京橋グランデにおいて、会員及び府民約 100 名を対象に、大阪府と共同で食品に関するリスクコミュニケーションを開催する予定です。(テーマは未定)</p>